

幸町IVFクリニック

あなたの**妊娠力**は もっと高まる! Returns!

妊娠力を上げるためにたいせつなことって何?
今回は、体外受精のエキスパート・雀部先生が
警鐘を鳴らす「画一的な体外受精」問題にフォーカス。
患者さんもしこくなるのがたいせつです!



教えてくれたのは
雀部 豊先生

1989年東邦大学医学部卒業。同大学第1産婦人科に入局。93年同大学院修了。医学博士。94年にアメリカへ留学し、着床前診断の研究に携わる。2002年幸町産婦人科副院長、11年幸町IVFクリニック院長。産婦人科専門医、生殖医療専門医、臨床遺伝専門医。



「院長と培養士の
IVFこぼれ話」
も大好評更新中!

http://blog.livedoor.jp/saiwaicho_ivf-tamago/

今号は

ひたすら**体外受精**の スパイラルに 陥っていませんか? 次の一手を考えて みましょう

というお話。

**採卵2〜3回で
結果が出ないときは
治療法を再検討して**

体外受精にステップアップされたかたにとって、「何回くらいで妊娠できるか」は、最も気になることではないでしょうか。何度か繰り返すうちに、「本当に妊娠できるのかな」と不安な気持ちにさいなまれていくかたもいるかもしれません。

確かに、体外受精は高度な生殖医療技術で、効果が期待できるものです。ただし、漫然と同じ治療を繰り返すだけでは、なかなか妊娠に結びつかないこともありま

す。私は、2〜3回採卵をしても結果が出なかつたときには、一度立ち止まって、治療法を見直してみることをおすすめします。

たとえば、鉄やビタミンDの不足、糖代謝、脂質代謝の異常、子宮内膜の状態や卵子の質が低下していることなどが、妊娠のじやまをしっているケースもあります。

卵巣の機能が下がっている場合は、DHEAのサプリメントを飲むことで卵胞の育ちがよくなる可能性があります。また、多嚢胞性卵巣症候群のかた、糖代謝に問題があるかたは、メトホルミンという薬の服用によって改善が見られることも少なくありません。

体外受精の技術面の工夫だけでは限界があります。体外受精と並行して、妊娠しやすい体づくりを進めていくことも非常にたいせつです。

**ドクターとの
コミュニケーションを
しっかりとって**
医療の助けを借りようとも、妊娠はご夫婦の力があつてこそ。「体外受精に進んだら、あとはドクターがなんとかしてくれる」という受け身の姿勢は、もつたいない、と思います。もし2〜3回、体外受精にトライしてうまくいかなかったとしたら、ぜひ医師に「前回、今回と結果が出なかつた原因として何が考えられるのか?」「その原因を克服するためにどのような対策が考えられるのか?」と尋ねてみてください。この2つの質問に対して真摯に向き

合い、きちんと納得できる答えを出してくれる先生なら、次の治療に向けて安心して進んでいくことができますね。反対に、うまくいかなかつた原因についての検証がなく、これまでどおりの治療法しか選択肢がない場合は、ご夫婦の意思でいったん立ち止まってみることをおすすめします。

体外受精という治療は、妊娠が成立しない原因を探る検査としての側面も持っています。過去の体外受精の内容を検証することなく、画一的な治療を進めようとするクリニックで、時間とお金をムダにしないようにしたいものです。信頼でき、クリニックと出会うためにも、ドクターとのコミュニケーションをしっかりとることが重要です。



幸町IVFクリニック

住所：東京都府中市府中町 1-18-17
コンテンツ府中1階・2階
アクセス：京王線府中駅より徒歩4分
電話：042-365-0341
<http://www.saiwaicho.com/>
※月曜・祝日は休診、完全予約制
※土曜・日曜も診察しています